

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		学童保育所運営事業費 [学童保育所運営事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	7	学童保育所費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	青少年 課 青少年育成 係					課長名	石川 博隆					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内在住の小中学生のうち、放課後等において保護者の適切な保育を受けられない児童					学童保育所入所申請者数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	学童保育所を開所し、児童に対し保育サービスを提供する。					学童保育所入所者数(割合%) → 入所者数/申請書数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	学童保育所の運営					年間開所日数 →						
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	人	768	815	942						
	成果指標	②の数値	%	94.0%	89.9%	91.5%						
	目 標	②の目標値	%	100.0%	100.0%	100.0%						
	目標値設定の考え方 待機児童を0人とすることを目標としている。											
	活動指標	③の数値	日	293	293	293						
3 経費	事業費(実績)		円	168,566,000	209,217,482	201,154,179	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	33,698,850	71,294,053	42,859,329						
		特定財源(国・都・他)	円	134,867,150	137,923,429	158,294,850						
		(うち受益者負担)	円	41,791,150	40,564,000	46,339,250						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	0.9	0.9						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	7,542,000	7,425,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	185,186,000	216,759,482	208,579,179							
4 環境変化等	(1) 開始年度		S39 年度									
	(2) 環境の変化 女性の社会進出の増加、母子・父子家庭の増加により入所希望者が増加してきている。 また、放課後の児童の安全対策としての必要性が高まっている。 入所希望者数の増加に伴い、学童保育所の増加。 各学童保育所の定員増加。民間学童クラブの開所(平成30年度4月開所) 令和2年4月より、学童保育所運営業務を委託することによる、保育サービスの充実。 令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための消耗品や備品を購入し各学童に配布した。購入した物品を活用した感染症拡大防止対策を図り、新しい日常生活様式の定着を進めた。											

事業名称	学童保育所運営事業費 [学童保育所運営事業]				
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・総合的な満足度の上昇 ・学校敷地内への学童保育所の設置 ・長期休暇中のみの学童保育所利用の要望 ・7、9クラブにおける待機児童へのランドセル来館利用の利便性の向上				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない		取組手法：④ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	・引き続き、学童保育所運営業務委託に関する適切な監督。 ・民間学童クラブの利用促進。 ・待機児童対策として実施している、ランドセル来館の見直し。 ・放課後こども教室との連携。 ・学童保育所の待機児童対策。 ・学校内学童保育所の設置拡大を図るための学校・教育委員会との調整				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	1 第四小学校内学童クラブの整備 2 学童保育所運営業務の業務評価及び月次報告書の提出				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
1 第四小学校内学童クラブの円滑な運営に努めていく 2 委託業者との連携を図り、適切な業務報告書の提出を促していく					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・運営業務委託による、保育サービスの向上を図る。 ・既存施設や学校施設等を効率的に活用して学童保育所の受入枠の拡大。 ・民間学童クラブへの周知など利用促進に努める。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・民間学童クラブの利用促進のため、運営団体との連携を図る。 ・学校との調整・理解を得ることが必要。 ・学校の再編計画を踏まえた、学童保育所及びランドセル来館の的確なニーズの把握。				